

健康通信

医療機器の専門家として、医療の発展へ貢献していきます



臨床工学科技師長

神戸 幸司

臨床工学技士について

臨床工学技士を「存じ」でしょうか

『臨床工学技士』は、国家資格を持つ医療技術者であり、医学と工学の両面を兼ね備えた医療機器のスペシャリストです。人の生命維持につながる機能である呼吸、循環、代謝等を代行する「生命維持管理装置」の保守管理点検や、医師の指示のもとこれらの医療機器の操作を行います。

医療技術の進歩に伴い、医療機器

の高度化・複雑多様化する臨床技術に対応する「いのちのエンジニア」として病院内でチーム医療に貢献しています。

臨床工学科(臨床工学技士の業務)

当院には、現在16名の臨床工学技士がME室、透析室、手術室に勤務しており、患者さんの治療・検査に関わる「臨床技術提供業務」、生命維持管理装置を含む医療機器を安全に使用するための「医療機器保守管理業務」を行っています。今回は、私たちの業務を紹介します。

「臨床技術提供業務」

当院の生命維持管理装置には、人工呼吸器・人工心肺装置・心臓ペースメーカー・補助循環装置・血液浄化装置・除細動器・保育器などがあります。

血液浄化療法のひとつである血液透析では、透析装置と周辺機器がオンライン化され、業務の安全と効率化が図られています。潰瘍性大腸炎等における白血球吸着除去療法等の特殊な血液浄化、難治性腹水症に対する腹水濾過濃縮再静注等も随時行っています。

また、人工心臓(心臓血管外科手術での循環維持や循環補助)、循環器・呼吸器系の補助循環、ペースメーカー・除細動器の植込み手術におけるプログラマー操作や各種計測、作動チェックを行います。



共同開発した汎用トレイ

「医療機器保守管理業務」

当院で使用している医療機器には心電図モニター、人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプ、AED・除細

動器など約1万台あります。ME室には専任スタッフが常駐し、これらを一括管理し、機器運用の効率化を図っています。また、これらの故障への対応や修理、使用方法の説明など、医療機器に関するすべてを担い、医療機器の安全性と信頼性を維持しています。

おわりに

私たち臨床工学技士は、医療機器が実際に活用される医療現場のニーズと企業の技術とのマッチングによる新たな医療機器の開発・創出・助言等医工連携業務も行っております。可能性を秘めた技術を医療現場に生かし、医療の発展に協力頂ける市内企業の方がおられましたら一緒に開発しませんか。

また、在宅領域での酸素療法や人工呼吸療法などでの医療機器の運用や操作についての相談にも対応しておりますので地域連携室を通してご連絡下さい。



技術提供・助言にて開発された新鮮凍結血漿溶解装置

